

NEWS

みやぎ街道交流会

みやぎ街道交流会ニュース 第5号 栗原大会特集号

みやぎ街道交流会
会長の高倉です。

「新年を迎えて」



新年おめでとうございます。

昨年は、5月に松島湾に浮かぶ寒風沢で「みやぎ街道交流会」を立ち上げ、十一月十七日・十八日には、栗原市で行われた「第一回交流会 in 栗原」を盛会裡に締めくくることが出来ました。

交流会二年目に当たる今年は、東北各地で活動しておられる方や、街道に興味・関心をもっておられる方々が、宮城県に参集され、活発な討議と、街道史跡めぐりや懇談が予定されています。

街道を通じて生まれる交流

私たちが生活している所には豊かな歴史や文化が埋蔵されています。これらの文化や歴史に光りをあてようと、研究・活動しておられる方や、交流を通して、今まで見えなかったものが見え、歩きながら仲間と話し合いの楽しさを知られた方々もたくさんおられます。

交流により地域の文化が結びつき、談笑が生まれる

七ヶ宿町で行っている町おこしのイベント「わらじで歩こう七ヶ宿」はその最たるもので、参加した人々は羽州街道の歴史を肌で感じられたと思います。その先には、湯原宿(宮城県)・楯下宿・高島宿(山形)の「三宿サミット(三宿地域連携協議会)」があります。

街道には、村境や県境はありません。境を越えて人々が交流し、地域の文化がラインとして結びつき、広がり談笑が生まれます。

しかし一方、開発によって、街道や周辺の歴史が消滅しているのが現状です。開発だけでなく、先祖の残してくれた貴重な文化遺産を知らずに無造作に壊されているのも事実です。

交流の輪から文化財の保護・継承へ

昨年、私は戦後開拓に入った岩手県一戸町に、奥州街道と一里塚が多く残っているというところを聞き訪ねてみました。案内をしてくれた人が、「中山一里塚の東塚は昭和五十年代になくなり、間宿(あいのしゆく)中山の間口十九間、奥行き九間、明治天皇もお休みになった家は、三軒の家に造り替えられました」と話されたのを聞き、交流会があれば保存されたのと思いました。



2008年も「みやぎ街道交流会」を
よろしくおねがいたします。

今まで受け継がれてきた文化遺産は次の世代に受け継ぐのが、現代に生きる私たちの努めです。このためにも上からのお仕着せではなく、楽しみながら交流の場が広がっていくことを願って、新年のご挨拶とします。

みやぎ街道交流会 会長 高倉 淳

伊豆沼の日の出 (宮城県栗原市 H19.11.18 撮影)

THANKS! & IVENT DATA

大会を終えて

2日間の日程で開催された「交流大会 in 栗原」。延べ110名の方の参加により、大成功のうちに大会を終えることができました。

「みやぎ街道交流会」として初めての大会運営でしたが、各方面から様々な方々のご協力・ご参加をいただき、とどこおりなく大会を終了できたこと、事務局一同感謝申し上げます。

【参加者の内訳-1】

	一般	会員	内スタッフ	計
宮城県内	49	1	11	50
栗原市内	21	12	11	33
仙台市内	9	8	3	17
その他	9	21	25	100
小計	79	21	25	100
宮城県外	7	3	1	10
合計	86	24	26	110

アンケート結果のご紹介

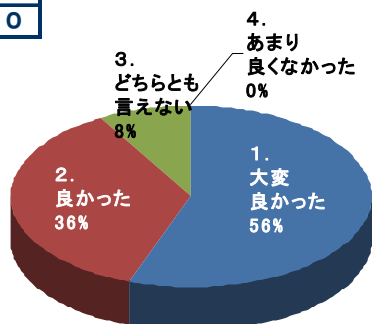
【参加者の内訳-2】

参加者数	参加者数
11月17日 交流大会	99
街道談義	57
11月18日 街道探訪会	55
宿泊者数(再掲)	27
合計	110

1日目の交流会と2日目の街道探訪会について、参加者のみなさまへ、感想や内容に関するアンケートを実施しました。その一部を以下にご紹介します。いただいたご意見を参考に、第2回、第3回...と今後の大会運営に役立てていきたいと思ひます。

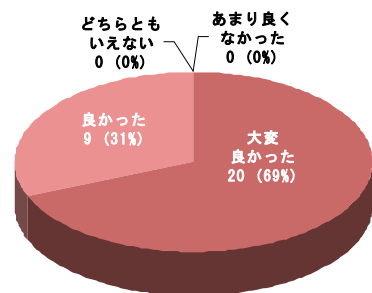
基調講演の内容は?

9割の方から「良かった」との感想をいただきました!



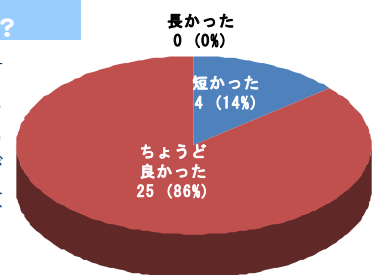
探訪会の内容は?

全員の方から「良かった」との感想をいただきました!



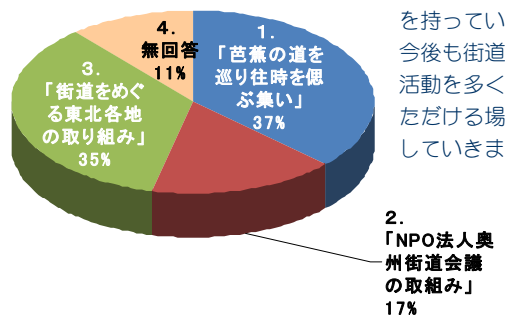
探訪会の長さ(時間)は?

「ちょうど良い」と感じた方が多数でしたが、「もう少し長い距離を歩きたい」「じっくり歩きたい」など、時間が短く感じたという意欲的な意見もいただきました。



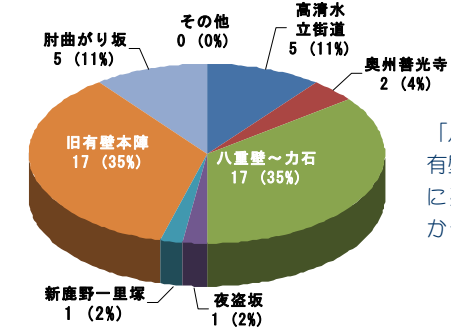
印象に残っている活動報告は?

各活動報告それぞれに興味を持っていただきました。今後も街道に関する様々な活動を多くの方に知っていただける場を作るよう努力していきます!



探訪会で特に印象に残っている場所は?

「八重壁~カ石」、「旧有壁本陣」が特に印象に残っている方が多かったようです。



有壁本陣。内部の見学は本当に貴重な体験になりました!



八重壁~カ石までの奥州街道。紅葉がとても印象深いですね!

【回答状況】

- 交流会参加者数: 99名 / 回答者数: 36名 / 回答率: 36.4%
- 探訪会参加者数: 55名 / 回答者数: 29名 / 回答率: 52.7%

回答いただいた方々、ご協力ありがとうございました!

編集後記

2008年、新年最初の「みやぎ街道交流会ニュース」いかがだったでしょうか。昨年11月に開催した「交流大会 in 栗原」の様を中心にとおどけしました。なお、交流大会の詳細を「報告書レポート」にまとめておりますので、そちらも是非ご一読ください! 次回のニュースは4月頃の発行を予定しています。春の雪解けまで街道歩きはしばらくお休みとなりますが、次号からまた街道関連の様々なイベントのご案内やご報告をしていきたいと思ひます。次回もお楽しみに... (くり)

連絡先

〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-6-7 グランビュー晩翠通1F (株) Rプランニング内
TEL:022-263-2560 / FAX: 022-724-3578 / Mail to: r@r-planning.jp

みやぎ街道交流会事務局

ニュースで紹介したい催しや参加報告はこちら事務局までお寄せください!

大会報告

MENU 11/17~18 in KURIHARA

大会の全貌はコチラ!

第一部 交流大会 13:00~17:00

(1) オープンセレモニー

- 主催者挨拶……みやぎ街道交流会会長 高倉 淳 氏
- 来賓挨拶……栗原市長 佐藤 勇 氏

(2) 基調講演

「東北の古代史における栗原地方の役割」
 ~伊治城と伊治公昔麻呂から何を学ぶか~
 ……東北歴史博物館前副館長 白鳥 良一 氏

(3) 活動報告

- 「芭蕉の道を辿り、往時を偲ぶ集い」
 ……おくの細道松島海道代表 京野 英一 氏
- 「NPO 法人奥州街道会議の取り組み」
 ……NPO 法人奥州街道会議事務局 安藤 美樹 氏
- 「街道をめぐる東北各地の取り組み」
 ……みやぎ街道交流会事務局次長 山屋 敏英 氏

(4) 栗原地方の旧奥州街道について

- 栗原地方全体と金成地区
 ……栗原市文化財保護審議会委員 菅原 昭治 氏
- 高清水地区
 ……栗原市高清水文化協会会長 兵藤 博行 氏

第二部 街道談義 18:00~20:00

- 開会の挨拶 ……みやぎ街道交流会幹事 梅津 輝雄 氏
- 乾杯の音頭
 ……若柳金成商工会まちづくり委員会委員長 小野寺 健太郎 氏
- 地酒自慢 / 江戸料理・郷土料理の振舞い
- 中締め ……みやぎ街道交流会 京野 英一 氏
- 2次会 / 3次会

第三部 街道探訪会 9:00~15:00

- 集合 (栗原市役所)
- 移動 (マイクロバス) ※途中、ポイント下車・説明
 ……市役所~高清水立街道~奥州善光寺~八重壁
- 街道歩き ……八重壁~カ石~蟹沢
- 移動 (マイクロバス) ※途中、ポイント下車・説明
 ……蟹沢~薬師堂~金成宿本陣跡 (昼食: 金成公民館)
- 移動 (マイクロバス) ※途中、ポイント下車・説明
 ……金成宿本陣跡~夜盗坂~新鹿野一里塚~有壁本陣
- 街道歩き ……肘曲がり坂
- 移動 (マイクロバス) ……上大沢田~市役所
- 解散 (栗原市役所)

とうとう、この日がやってきました。

「みやぎ街道交流会」初の大会運営となった、『第1回交流大会 in 栗原』。これまで東北各地の街道にまつわる様々なイベントや催しへ参加してきた百戦錬磨の事務局メンバーも、ホスト役としては全てが初めてのことばかり。期待と不安いっぱい、大会当日の朝を向かえました…



↑参加者の方々を笑顔でお出迎え会場となった栗原市金成庁舎→

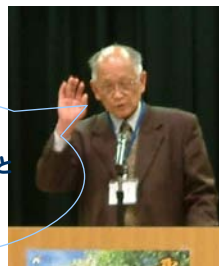
First STAGE ……第一部 交流大会

記念すべき日です…高倉会長のこの挨拶でいよいよ大会の幕が上がりました。



栗原の光を顧る(観光)意識で!
 ~佐藤市長挨拶より~

様々な点を街道が結び、そこに交流が生まれ面となって広がるのです!
 ~高倉会長挨拶より~



↑白鳥前副館長による基調講演

佐藤市長の挨拶の後、基調講演に移ります。基調講演では、「東北の古代史における栗原地方の役割」と題して、東北歴史博物館の白鳥前副館長より講演いただきました。講演では、東北地方の古代史と、その中で栗原地域がどのように生まれたのか、そしてどのような役割を持ってきたのかをわかりやすく講演いただきました。基調講演の後には、街道仲間による、活動報告です。京野副会長による「松島海道」、街道のマドンナ安藤事務局長による「奥州街道」、そして最後は我らが山屋事務局次長による「みやぎ街道交流会」と、東北地方で活動する3団体から活動報告を行いました。



活動報告の後には、翌日の探訪会の予習を兼ねた「栗原地方の旧奥州街道」についての解説です。栗原地方全体の街道や歴史と有壁本陣のある金成地区についてを栗原市の菅原さんに、今も奥州街道が現存する高清水地区についてを同じく栗原市の兵藤さんにそれぞれ解説いただき、これで翌日の予習もばっちりというところで、第一部「交流大会」は終了です。引き続き、第二部へと舞台を移して、in 栗原の1日はまだまだ続きます…



←京野副会長



↑山屋事務局次長



↑安藤事務局長



↑菅原さん



↑兵藤さん

Thrd STAGE ……街道探訪会

朝 9時、栗原市役所集合。朝食時の突然の雨に、みんなの脳裏に不安がよぎりましたが、市役所に着く頃にはその雨も上がり、ホッと一安心でバスへと乗り込みました。この日のコースは、高清水地区から金成地区(岩手県境付近)までの旧奥州街道、有壁本陣及び周辺の地域資源を、兵藤さん・菅原さんの案内で歩きます。

→虹が出ました!



みなさんに乗せたバスは市役所を南下し、最初の説明ポイント「高清水立街道」へと向かいます。「立街道」はかつては松並木だったそうですが、今はもう松は残っていませんでした。

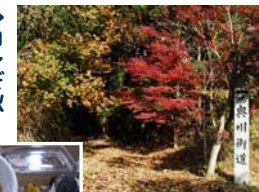
再度バスに乗り込み、次のポイント「奥州善光寺」へ移動します。東北では珍しい善光寺ですが、この日は黄色く色づいた銀杏がとてもきれいでした。



←善光寺を囲む銀杏

→奥州善光寺

→コレぞ秋!



←食欲の秋!!



次は「八重壁」へと移動、いよいよ奥州街道を実際に歩きます。今も現存する貴重な奥州街道は、地域の方に植えられた紅葉で彩られ、秋を堪能しながら気持ちの良い街道歩きとなりました。

Second STAGE ……街道談義

いよいよ、お待たかねの街道談義。お忙しい中、駆け付けて頂いた梅津幹事による開会の挨拶、そして共催の「若柳金成商工会まちづくり委員会」小野寺委員長の乾杯の音頭で街道の長い夜が始まりました。地元有壁の萩の鶴酒造(株)さんから寄贈のあった「奥州街道」をはじめ、田酒・南部美人・月の輪…etc、参加者有志の方々から持ち込まれた東北の地酒がズラリ。恒例の地酒自慢が繰り広げられました。

↓梅津幹事



↑小野寺委員長と佐藤事務局長代理

乾杯!!

↓ズラリ揃った地酒



また、今回はお酒もさることながら、料理にもヒト工夫。郷土料理の他に、若柳金成商工会まちづくり委員会の皆様のご協力により、150年前(!!)のレシピから再現した江戸料理が振る舞われました。中締めの後も、まだまだ街道談義に花が咲き、宿泊する方々を中心とした2次会、そして有志による3次会へと、街道の長い夜は更けてゆきます。さてさて、明日の探訪会は大丈夫でしょうか?



MyBest!

恒例の→地酒自慢

お母さんの味・常盤味噌! こんにくに付けてイタダキます



←復元された江戸料理の数々

またバスに乗り込み、「薬師堂」を経て、「金成宿本陣跡=現金成公民館」に到着。ここでそば団子とおにぎりの昼食をいただき、午後の部へとバスで出発。途中、ぶっそうな名前の「夜盗坂」と、「新鹿野一里塚」周辺で菅原さんの説明を聞き、いよいよ奥州街道で唯一現存する本陣「有壁本陣」に到着です。

有壁本陣では、ご好意で思いがけず内部の見学をすることができ、みなさん熱心に見学されていました。

↑コチラが有壁本陣です

その後は、肘曲がり坂を歩いて、集会所の市役所へと無事に帰りました。



←肘曲がり坂